

第2回横浜市生活自立支援施設指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年7月22日（火） 13：10～15：30
開催場所	横浜市役所16階N04会議室
出席者	阪東委員長、加藤委員、丹羽委員、林委員、森委員、事務局4名
欠席者	なし
議 題	1 指定候補者の選定
開催形態	非公開
決定事項	1 指定候補者として、社会福祉法人 神奈川県匡済会を選定した。
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員5名中5名が出席しているため、委員会は成立。 ・第1回選定委員会後の経過について、事務局から説明。4月21日から25日まで公募申込受付を行い、1団体から応募があったことを報告。 <p>2 議事</p> <p>【プレゼンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募団体による30分間のプレゼンテーション ・応募関係書類を使用し、説明。 <p>【ヒアリングでの主な質問及びその回答】</p> <p>＜評価項目1 応募団体に関する事＞</p> <p>（委員） 目標達成に向けた定量的な指標（KPIなど）は設定されているか。</p> <p>（団体） 年度当初に事業計画を策定し、受入人数や自立率などの数値目標を設定している。</p> <p>（委員） 自立率の定義は何か。</p> <p>（団体） 自立の定義は「住まいの確保」「就労と住み込み」「施設入所」「入院」など。無断退去等は除外。</p> <p>（委員） 「心安らぐ」「安全で安心」といった表現の具体的な支援内容は？</p>

	<p>(団体) ストレスを下げるため楽しみが持てるレクを中心に行っている、過去にはスマホ講座、散歩なども。こうした内容を通じて社会との接点や心の安らぎを持つことが自立への第一歩と考えている。</p>
	<p><評価項目 2 職員配置・育成方針></p>
	<p>(委員) 女性入所者が増えているが、女性職員は配置されているのか？</p>
	<p>(団体) 女性職員を必要数配置している（看護師1名含む）。また、積極的に採用している。</p>
	<p>(委員) 職員のメンタルケア体制は？</p>
	<p>(団体) ストレスチェックを毎年実施。法人本部には臨床心理士による相談窓口を設置している。</p>
	<p>(委員) 資格取得支援制度の内容は？</p>
	<p>(団体) 社会福祉士や精神保健福祉士の取得を奨励。費用の補助、職務免除あり。</p>
	<p><評価項目 3 施設の維持管理運営></p>
	<p>(委員) 防災訓練は施設単独か地域合同か？</p>
	<p>(団体) 年3回の防災訓練は施設単独と地域合同の2種類。地域の防災活動にも参加。</p>
	<p>(委員) 施設の清掃体制と感染症対応はどうなっているか？</p>
	<p>(団体) 清掃は週5日業者に委託しており、週2日は希望する利用者にボランティアでトイレ清掃を依頼している。感染症発生時は業者の出入りを禁止し、職員が塩素消毒で対応。</p>
	<p>(委員) ICT化と情報セキュリティ対策は？</p>

	<p>(団体) パソコンは二重パスワード、専用ルーター経由でのみアクセス可能。第三者委員会で指摘されたパソコン画面の開き放しの課題も認識し改善予定。</p> <p>(委員) 第三者委員会で確認された修繕対応は行われているか？</p> <p>(団体) お風呂場の階段や床材の滑り止めなど、安全対策を実施済み。</p> <p>(委員) 防犯カメラの設置状況は？</p> <p>(団体) 防犯カメラは設置済み</p> <p><評価項目 4 事業の運営実施></p> <p>(委員) LGBTQ対応の具体的な取り組みは？</p> <p>(団体) ホテル借り上げや簡易宿泊所利用など柔軟に対応。</p> <p>(委員) 寿デイなどの独自事業の財源は？</p> <p>(団体) 独自事業は法人資金で実施。指定管理料とは別。</p> <p>(委員) 財務状況と令和6年と令和7年の予算の変動要因は？</p> <p>(団体) 収益は増加傾向。人件費増が主因。</p> <p><評価項目 5 指定管理料></p> <p>(委員) 実績と予算の収支構造は？</p> <p>(団体) 生活支援事業は3つの事業で構成。収益は約3.4億円、費用は約3.25億円。</p> <p><評価項目 6 その他></p> <p>(委員) 個室化の課題と対応策は？</p>
--	---

	<p>(団体) 構造上の制約で完全個室化は困難。個室化に向け様々な角度から検討している。</p> <p>(委員) 地域共生社会への貢献の具体策は？</p> <p>(団体) 災害時は孤立防止、衣食住の支援などを通じて、地域福祉の拠点として機能していきたい。</p> <p>(委員) 利用者のアンケート活用と改善事例は？</p> <p>(団体) インスタグラムでアンケート結果を公開し、談話室の椅子修繕など改善。</p> <p><評価項目 7 加減点項目> 特になし。</p> <p>【審査結果】 各委員が審査を行い、事務局が集計。結果は以下のとおり。 総得点1,132点（満点1,400点（加減点項目除く）、得点率80.9%） 最低基準である満点の6割（840点）を上回る結果となった。</p> <p>【指定候補者選定】 集計結果を受け、横浜市生活自立支援施設の次期指定候補者として、社会福祉法人 神奈川県匡済会を選定した。</p> <p>【選定結果報告書】 横浜市生活自立支援施設はまかぜの選定結果報告書については、審査にあたり各委員から述べられた意見を事務局でとりまとめ、案を作成した上で阪東委員長に一任して確定することとした。</p> <p>【審査講評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人は多様な事業を展開しており、他施設や地域との連携も見られ事業実施団体として評価できる。 ・寿町が福祉ニーズの高い街に変遷し、事業展開の過渡期にあるとの認識のもと、提案された新規事業の実現や新理事長による改革の推進に期待する。
--	--

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・地域に開かれた施設運営や、対応できていない課題等新しい分野への取り組みが求められる。・人件費の増加を見込んだ予算編成は、職員の処遇改善を意識したものであり、好ましい。・第三者評価委員会の指摘事項に対して、細やかな改善が見られた点は評価できる。・実績ベースで見ても、事業者の努力が伝わってくる。・職員が相談しやすい体制が整っているか不明確であり、ストレスの多い職場環境において職員のケアが重要である。・職員が安心して継続して働ける環境づくりに、さらに尽力してほしい。・施設の老朽化や利用者ニーズの変化に対応するため、個室化を含む改修の必要性がある。・建物の修繕や改築が必要となった際には、行政による支援の検討が望まれる。・定員割れが続く中で、事業の効率化や適正化を図る必要がある。 |
|--|

3 閉会